



企画名：中山間地区のミカン産地の住込援農事業で地域活性化・関係人口創出

活動内容

みかんの産地である海南省下津町で、収穫シーズンである繁忙期（11月～12月）に農業や季節労働、田舎暮らし、共同生活に興味を持つ若者を募集し、地域の空き家をシェアハウスとして活用することで収穫作業の手伝いを行い、地域での就農につながるよう支援を行います。

シェアハウスの様子



1 年目

収穫作業やコンテナ運搬など、高齢の農家にとって負担が大きい農作業について支援を行いました。さらに、援農事業に関わるコーディネーターをインターンとして受け入れ、移動の支援や日常生活の支援を行い、受け入れ農家の負担を減らす等、農作業に取り組みやすいしくみ作りを行いました。また、SNS等を通じて情報発信を行い、援農事業の知名度向上を図りました。

2 年目

SNS等を通じて広く情報発信を行い、援農者を募集しました。また、援農活動の周知と空き家募集を目的としたチラシを作成し、近隣住民に配布しました。コーディネーターの支援等により、援農者の満足度を高めることができたこともあり、援農参加者の4割近くが1年目のリピーターでした。



援農者の畑での様子



交流会

3 年目

援農者と地域住民が交流する親睦会を開催したことをきっかけに援農者同士での交流も生まれました。全国から農業に興味のある若者を援農者として受け入れることにより、農業者の労働力の補完、関係人口の創出につなげることができました！



Instagramでの情報発信の様子